

平成20年度 神田事業所岩本町ほほえみプラザ 事業計画概要

前年の概況（稼働率は、一二月末現在）	<p>1 サービス向上</p> <p>①ほほえみサポート隊登録70名、介護予防事業3教室、延べ1128名参加。参加者同士の交流もでき始めた。</p> <p>②事業所として食事の統合ができず。(新調理システムを利用した食事作り)</p> <p>③都実施指導(11/27ケアハウス)、第三者評価(9/1～1/31デイサービス、ショートステイ、グループホーム、ケアハウス)、情報公表(11/6デイサービス)、千代田区指定管理者監査(10/25)、法人サービス自己評価・意見交換会(12/1～1/18)</p> <p>2 業務マニュアルの推進・検討</p> <p>3 部署間の連携 委員会・施設巡回等を通して他部署を理解</p> <p>4 地域との協力 運営協議会を2回開催。次年度、緊急・非常時の対応を協議する。</p> <p>5 各事業について</p> <p>①デイサービス(一般30名、認知12名) 一般・認知の活動を分けた 稼働率:一般80%、認知61%</p> <p>②ショートステイ(定員20名) 稼働率:105%</p> <p>③グループホーム(定員9名) 入所基準の整理、重度化へのへの対応 稼働率:96%</p> <p>④ケアハウス(定員20名) 入所基準の整理、重度化への対応(家族との関係強化) 稼働率:94%</p> <p>⑤健康回復支援ショートステイ 地域包括支援センターとの連携・連絡関係未調整 実人数3名、延べ38日</p> <p>⑥介護予防事業 特定高齢者:転倒骨折予防教室(2名参加) 栄養改善教室(1名参加) 一般高齢者:3教室、活動日数120日、実人数63人、2月17日介護予防事業発表会実施 参加者50人、内容:各発表教室・講演・交流会(お汁粉作り)</p> <p>6 区民施設等 稼働率:28%</p>
--------------------	--

課題	<p>1 事業運営の見直し</p> <p>①行事・各部署間の連携強化</p> <p>2 人材確保・育成</p> <p>①実習生受入れ等、連雀と連携する</p> <p>②研修体制の整理</p> <p>③OJT</p> <p>3 地域包括支援センターとの連絡・連携</p> <p>①神田地域の在宅・施設利用者(介護予防事業等)</p> <p>4 介護予防・ほほえみサポート隊の整理・充実</p> <p>①ほほえみサポート隊の組織化</p> <p>5 防災意識の向上</p> <p>①高層ビル防災訓練の充実・地域との連携</p> <p>6 利用者・職員の安全確保</p> <p>①年間を通じた感染症予防の充実、厨房の調理環境整備</p>
----	---

本年重点ポイント

<p>重点ポイント</p> <p>1 部署間の協力・連携</p> <p>①会議への参加</p> <p>②高齢者活動プログラムの充実</p> <p>2 人材確保・育成</p> <p>①連雀と連携した実習生の受入れ</p> <p>②サービス自己評価意見交換会</p> <p>③各委員会への参加</p> <p>3 指定管理者申請準備</p> <p>4 神田地域の家族支援</p> <p>①空きスペースを利用した家族支援事業</p> <p>②在宅高齢者の食生活改善</p> <p>5 安心・安全対策の強化</p> <p>①区による厨房単独空調工事の実施予定(10月以降)</p> <p>②感染症予防</p> <p>6 ほほえみサポート隊・介護予防事業の整理・充実</p> <p>7 地域包括支援センターを中心としたサービスの集約</p>
--

全体を通した考え方

<p>1 地域包括支援センターを中心に神田事業所として地域を包括的に支援する</p> <p>①介護予防・在宅・施設入所の継続的なサービス</p> <p>2 岩本町ほほえみプラザサポート隊を中心にシニアパワーの活用、地域との関係を構築する</p> <p>3 千代田区「介護保険施設等人材確保・定着・育成支援補助事業」を活用し、人材確保・サービス向上を図る</p> <p>4 運営基準を遵守した運営</p>

	対利用者	職員・業務
運営・管理	<p>事務局担当</p> <p>1 利用者への快いあいさつ</p> <p>2 より正確な介護報酬請求、利用者請求事務</p> <p>3 未収金の管理</p>	<p>1 部署間の協力・連携を図っていくため、横断的な各種委員会を活性化していく</p> <p>2 指定管理者申請準備</p> <p>3 勤怠管理(労働安全衛生委員会との連動)</p> <p>4 収入・支出管理の充実</p>
	<p>サービス向上</p> <p>1 法人サービス評価等を通しサービスを再確認する</p> <p>2 さまざまな活動を通した、ふれあいの機会提供</p>	<p>1 研修の充実</p> <p>2 各委員会活動の充実</p> <p>①防災訓練の充実</p>
	<p>区民施設等</p> <p>1 地域活動等、利用しやすい環境整備</p> <p>2 介護予防事業を通した地域住民の交流促進</p> <p>3 地域の自主活動支援</p>	<p>1 利用者との挨拶</p> <p>2 地域のマンパワー活用</p>
センター	<p>デイ</p> <p>1 活動プログラムの充実を図る</p> <p>①一日のデイサービスプログラムを見直し、一般、認知症対応型それぞれに適した活動を展開する</p> <p>②入浴について活動の一環として捉え、入浴前後も含めた過ごし方を検討する。認知症デイにおいてはグループホーム利用者との共同活動に取り組む。</p> <p>③介護予防事業について、文化的活動を新たに実施し、多くの区民が利用できる体制を整える</p>	<p>1 コミュニケーション力の更なる充実</p> <p>①会話技術、情報収集能力の向上</p> <p>2 他部署との連携・協力</p>
	<p>健康回復支援SS</p> <p>1 利用中の不安への対処</p> <p>①食事、入浴のスケジュール、環境整備、声かけ等</p>	<p>1 申し込み、入所から退所までの流れの整理と周知</p> <p>2 包括支援センターとの情報共有</p>
ホーム	<p>ケアハウス</p> <p>1 要支援・要介護状態の予防(ケアハウスでの生活維持の支援)</p> <p>2 ケアハウスでの生活が困難になった際の今後についての検討</p> <p>3 他職種・家族との連携の強化</p>	<p>1 入退居に関する条件整備</p>
	<p>グループホーム</p> <p>1 共同活動(食事作り、外出)や趣味等、生活の豊かさや潤いの充実</p> <p>2 共用スペースの整備</p> <p>3 自発的な生活を送れるような環境づくり</p> <p>4 他部署の利用者との共同活動</p>	<p>1 入退居に関する条件整備</p> <p>2 重介護化に伴う、介護の見直し</p> <p>3 介護技術・知識のレベルの向上</p>
	<p>ショート</p> <p>1 各チーム(食事・入浴・排泄・活動)が主体的に活動することで、サービスの向上を図る</p>	<p>1 認知症という疾病への理解を深める</p> <p>2 プラザ内他部署との連携を強化する</p> <p>①会議への参加要請</p>
連携	<p>看護</p> <p>1 利用者の感染予防・健康管理</p>	<p>1 他部署との連携の強化</p> <p>2 入所者およびDS利用者の疾病の理解、内服薬医療情報の収集</p> <p>3 緊急時対応の研修</p>
	<p>食事</p> <p>1 「食」を楽しむ</p> <p>①サービスに合わせた楽しめる食事の提供</p> <p>②ニーズを把握できる体制作り</p>	<p>1 他部署との連携の強化</p> <p>2 技術の向上と安定</p> <p>3 業務の効率化をめざす</p>